



人類に
奉仕する
ロータリー

パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 全員参加で、奉仕の理想を実現しよう!

パワー浜松ロータリークラブ (2016-17年度 会長: 近藤 雅彦 幹事: 田淵 邦彦)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第643回例会 9月 27日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

●司会: 原田道子 松本好司 山下俊彦

●点鐘: 近藤 雅彦

●議事: 夢計画担当部会

「夢計画「防潮堤植栽事業」について」

〈出席報告〉

会員数 79名(内 出席免除会員1名)

出席数 59名 出席率 75.64%

前々回出席率 82.05%

■会長挨拶

近藤雅彦会長: 先日の土曜日は中田島の清掃事業と堆砂垣の事業お疲れ様でした。

この事業は当クラブが中クラブのスポンサーで設立されたという経緯もあって、設立当初より続けている奉仕活動ですが、本日の例会のテーマは今年度初めて行う「防潮堤の植栽事業」という奉仕活動についてです。

ロータリーの奉仕活動ですが、様々なお考えがあると思います。

それを考える上で参考になるのがライオンズクラブの奉仕活動との比較です。

ものごとを理解する時に、似たものと比較するとよく理解できるというのがありますが、この手法もこの場合、使えるのではないかと思います。ネットで検索したところ、面白い記事がありました。ロータリーとライオンズの違いという文書です。

それによると最大の違いは、奉仕活動の考え方でロータリーが「I serve」といって個人が方針活動の単位となっているのに対して、ライオンズは「We Serve」といってライオンズという組織自体が奉仕活動の単位になっているとのことでした。なかなか面白い比較だと思いましたが、最近ではロータリーも基本は「I Serve」というところに軸を置きながら、組織としての奉仕活動も行うというように変化してきました。中田島の清掃活動や今回行う植栽の事業など夢計画もこの流れの延長線上にあるのだと思います。

■幹事報告

田淵邦彦幹事: 本日レターケースに入っております配布資料は、ロータリー米山記念奨学事業・豆辞典2016-17年度版、夢計画担当部会、担当例会・議事に使用されます資料の2点です。不足、御座いましたら、私の方に申し出て下さい。

11月19日・20日(土・日)グランシップ静岡にて開催されます国際ロータリー第2620地区・地区大会の参加申し込み受付は、本日締め切りになります。ご参加される方は幹事・事務局に申し込みをお願いします。

10月のビュー広場のテーマは、「あなたの趣味と特技は、なんですか?」に決まりました。

10月3日からのご投稿をお願いします。

例会終了後に、メイフェアの間にて、第3回役員・理事会を開催致します。出席義務の方は、ご出席をお願い致します。



■委員会報告

社会奉仕部会（藤田光弘副部長） 中田島の清掃事業と堆砂垣の事業お疲れさまでした。多くの皆様にご参加いただき、まことにありがとうございます。また、駐車場の件ではご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。

ゴルフ同好会（村田誠幹事） 9月22日浜松11RC親睦ゴルフコンペが行われ、当クラブから10名参加しました。当時に開催しました青空例会において、山下俊彦さんが優勝されました。10月10日第2回青空例会の出席締め切りを本日までとします。

■スマイル

近藤雅彦会長：本日の中日新聞「おはよう」の欄に妻の記事が載りました。高校生の時に絵画コンクールで受賞して以来2度目の掲載とのこと。お時間がありましたらご覧ください。



堀内善弘会員：ビジネス視察研修で先週6日間中国に行き参りました。静岡県と浙江省との提携も来年で35周年、その浜松版です。現地では、浙江省の政府関係機関との懇談会をしました。一番の目玉は、今や世界最大の流通グループとなったアリババ本社訪問です。中国の強大さ、成長への貪欲さ、スピード感、そして、ますます広がる格差が見られました。良き隣人として、付き合っていく必要もひしひしと感じました。

池田龍郎会員：そろそろ引退に向けた準備しようかと考えていましたが、にわかになんて忙しくなってきた、のんびりした事を言っていられない事態になってきました。もうひと踏ん張りしてみます。

加藤恵司会員・加藤ひとみ会員・八田峰夫会員・西尾文克会員：9月18日、安間さんの企画された「マッケンジーソープの世界展」に行き来ました。当日、偶然、西尾さんと八田さんにばったり会いました。テレパシーがあるみたいでうれしかったので、記念写真をとりました。又、安間さん、大成功おめでとうございます。

そして、高見さん、ニャンコワイン買いましたよー。

高木一浩会員：9月18、19日に全日本マスターズ陸上大会に参加してきました。今年は開催地が新潟市で、美味しい酒と肴を楽しみながらの参加でした。競技の結果は満足いくものではなかったのですが、たくさんの年寄りパワーをもらって帰ってきました。

小澤邦比呂会員：本日は植栽活動の説明の機会をいただきありがとうございます。11月27日は皆様のご出席のしみにしています。宜しくお願いいたします。

匿名希望：秋になったので、スマイルです。

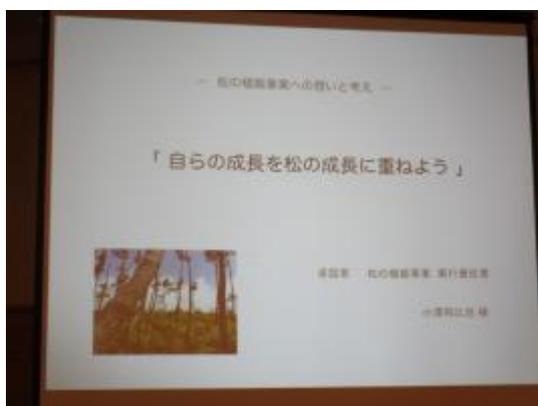
■議事

夢計画「防潮堤植栽事業」について

担当：夢計画担当部会

山崎益男会員：防潮堤植栽事業について説明させて頂く前に、資料の確認をさせていただきます。浜松市沿岸域防潮堤整備・自らの成長を松に重ねよう・静岡県海岸防災林における森林整備方針・同概要版の4点です。

実行責任者の小沢邦比呂さんから「自らの成長を松に重ねよう」と題し、講演をいただきます。最後に質疑応答の時間をとっています。



小澤邦比呂会員：植栽事業は夢計画の一環でございます。夢を実現するためには、皆様の出席が不可欠です。

静岡県と浜松市は、浜松市沿岸域に防潮堤の整備を進めています。その防潮堤整備には一時取り除かれた森林があり、今回、その森林の早期回復を目的に防潮堤への植栽を行います。この森林は、海岸防災林として内陸部の住家や農地などを、風や飛砂、塩害等から守るとともに、津波被害を軽減する働きのある重要な森林です。

この事業に、様々な事情により、肉親との結びつきが薄い児童養護施設の清明寮の子供たちを招き、松とともに成長して頂きたいと思っています。

防潮堤植栽の活動の件ですが、日時は、今年の11月27日（日）です。午前9時から2時間程度で行う予定です。浜松市の市民植栽と一緒に活動であり、9月20日に申請を済ませてきました。場所は篠原地区です。市民植栽は、市が準備したものに労力だけを提供する活動ですが、私た

ちが行う植栽活動は、苗木も自らで調達し、植栽して終わりではなく、その後の管理もしようと考えております。

私たちの活動場所は、篠原に隣接する舞阪地区となります。駐車場もなるべく近いところを確保します。終了後、清明寮の体育館をお借りして昼食をとり解散する予定です。



持ち物は、水分補給用のお茶・植林後の松の為の水を持参して頂き、タオル・帽子など作業ができる服装で参加して頂きたいと思っております。

全長120メートルの区画を市からお借りします。1区画が10メートルなので、12区画となります。クロマツの苗240本を植栽する予定です。当日は、正木先生もお見え下さり、植え方のご指導を頂くことになっています。

鈴木直幸会員：植林の記念に苗木に名札のようなものを付けることは可能ですか？

小澤邦比呂会員：参加者全員の名前をプレートにして残したいと考えています。

伊藤勝人会員：苗木にやる水ですが、ペットボトル1本では不十分なのではないでしょうか？

小澤邦比呂会員：浜松市でも水のタンクを用意しますし、正木先生も水のタンクを用意して下さい。ただ、自分が植えた苗に、自分が用意した水をやることで気に愛情を注いでほしいと思っています。

堀内善弘会員：事業の継続性や植林の管理について、どのようにお考えがお聞かせください。

小澤邦比呂会員：事業の継続性については、クラブ役員で決めてもらいたいと思っております。管理については、間引きや下草を刈ったりすることを行っていきたくと考えています。